

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年9月6日
事業名	広報事業	担当課・係名	政策課広報情報係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	18
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	全町民（全戸配布）に行政情報の周知を図るため。 視覚障害者が、広報おいそを録音テープで聞くため。 広報掲示板としての利用に支障がないように維持管理を行う。				
対象 (誰を・何を)	全町民（全戸配布） 視覚障害者 町内に設置してある広報掲示板（103基）				
内容	広報おいそ、お知らせ版を毎月1回発行し、行政情報の提供を図る。各世帯への配布は、シルバー人材センターに委託し、各地区の配布員に配達し、配布員から各世帯に配布している。 視覚障害者のために、ボランティアの協力を広報おいそをカセットテープに録音し、複製を障害者及び図書館へ配布している。（声の広報） 町内に設置してある広報掲示板（103基）の維持管理を行う。				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	10,584	10,579	11,075
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	660	1,576	1,213
	一般財源	千円	9,924	9,003	9,862
	職員人数 (概算職員数)	人			1.01
	人件費計 (b)	千円			6,189
総事業費 (a)+(b)	千円	10,584	10,579	17,264	
事業費内訳 H 25 年度	食糧費（声の広報ボランティア食事代）14千円、印刷製本費3千円、傷害保険料（広報写真撮影、子ども広報編集委員ボランティア保険代）8千円、事業委託料（広報おいそ発行委託料）5,400千円、広報等文書配布委託料5,400千円、修繕料（広報掲示板）250千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 世帯数	世帯	12,525	12,608	12,621
	②				
活動指標 (活動量)	① 広報発行部数	部	12,708	12,779	13,000
	②				
成果指標 (達成度等)	① 広報1部当たりのコスト	円	32.8	32.7	34.6
	② 広報配布実績	世帯	11,901	11,965	12,100

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	多くの行政情報を町民にお知らせする媒体であるため町が実施主体で行うのは妥当である。配布も、自治会を通して確実に実行することができるため妥当である。声の広報もボランティアに協力していただき実施しているため妥当である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	各記事の紙面割りは職員で行い、デザイン等は委託業者が行っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	見やすく、読まれる広報づくりを行うため、写真等も大きく多く使い紙面割りを複数ページの特集記事を組んでいる。配布方法も、自治会を通じて配布を行っており、効果的に、確実に各世帯に配布されている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	コストは、入札により最小限に抑えられている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	発行委託は、最小限の金額で委託を行っている。配布委託は、各地区の協力により行っている状況にある。声の広報の作成は、ボランティアの協力により行っている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 広報の作成に当たっては、特集記事等を組むなど見やすく、読まれる広報づくりを心がけて取り組んでいる。今後は、広報紙の作成をはじめ、情報戦略の考え方など職員の共通認識と意識改革を行っていく必要がある。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
広報は、町の情報等を戦略的に発行するためのものであるという意識を全職員が持つ必要があるとともに、町内向けだけでなく町外への発信も今後行なっていく必要がある（シティーセールス、シティープロモーションの要素を加味していく）。 声の広報について、現在はカセットテープ対応であるが他の媒体への対応を検討する。 広報紙の発行を含め、情報戦略の考え方や人的面での体制づくりが必要。
② 平成26年度に着手する事項
人的配置等を含め抜本的な体制づくりを急務。 その中で、毎月の特集記事等を組んだ広報づくりなどに取組む。
③ その他（課題、調整事項等）
トータルビジョンを描くための体制づくりと、全職員の共通認識と意識改革。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

「広報おいそ」については、単なる情報提供を目的とした媒体紙として捉えるのではなく、引き続き、特集記事などを盛り込むなど「読まれる、読みやすい」広報づくりに力点をおき作成・発行していく。 また、タウンセールスの観点から、合併60周年記念事業と題し、大磯の魅力を町内外に発信（PR）する一つの取組みとして「大磯オリジナル切手シート」を作成・販売していくが、タウンセールスやタウンプロモーションへの取組みについても研究を行っていく。
--